

北海道地震

厚真町の震度は7 国内観測史上6回目

毎日新聞 2018年9月6日 15時27分 (最終更新 9月6日 15時58分)



地震による土砂崩れに巻き込まれた建物＝北海道厚真町で2018年9月6日午前8時13分、本社機「希望」から佐々木順一撮影

北海道で発生した地震で、気象庁は6日、厚真町の震度が7だったと明らかにした。国内で震度7が観測されたのは2016年の熊本地震以来で6回目。

警察庁によると、むかわ町と新ひだか町で計2人が死亡した。厚真町では心肺停止の4人を見つけたとの情報があり、道警などが確認を急いでいる。道警や消防、自衛隊は土砂崩れに巻き込まれた住民の救助活動を続けた。

北海道電力によると、停止していた火力発電所のうち、砂川市の砂川発電所が稼働。道内全約295万戸の停電も、一部地域で復旧した。ただ、大部分の地域では停電が続き、市民生活に深刻な影響が出ている。(共同)

